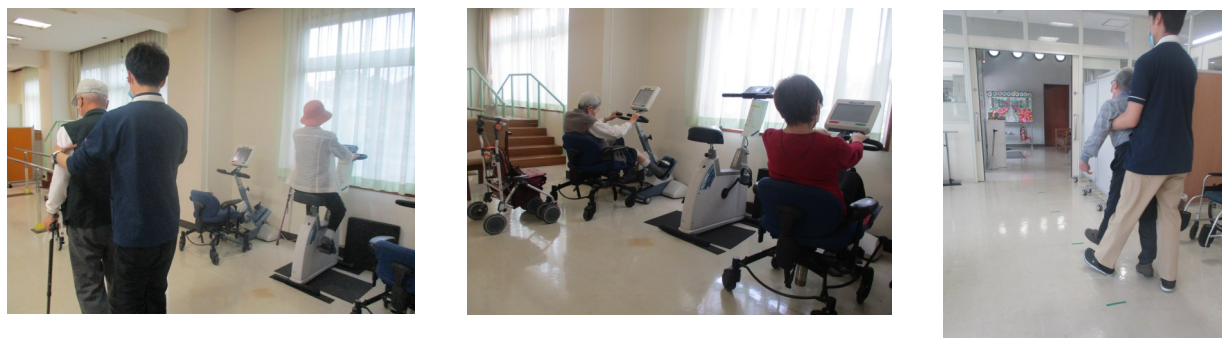


## 荒牧デイサービスセンター

#リハビリ特化デイが始まりました！



伊丹荒牧デイサービスでも「リハビリ特化デイ」が始まりました。「歩きたい」「旅行に行きたい」などの目標に、セラピスト（理学療法士）が個別リハビリを提供し、少しでも希望に近づけるようにリハビリをお手伝いさせていただきます。是非一度体験してみてください。サービスは午後の3～4時間で提供しています。

荒牧5丁目16番27号

# 「リハビリデイ」、始まっています！



南野2丁目3番25号  
ラスタホール3階

#iPadを用いた脳トレも好評です！

## 南野ステップアップデイサービスセンター



伊丹南野ステップアップデイサービスセンターでは、言語訓練や休憩時間の脳トレでiPadのアプリを使用しています。言語訓練では『呼称リハ』（アプリ名）を使用し、想起障害のトレーニングをしており、脳トレには漢字や数字を使った問題のアプリを使用し、休憩時間もリハビリを行っているご利用者もいらっしゃいます。

ご利用者からは、初めて触るiPadに戸惑いつつも、使い方をご説明すると、集中して一生懸命に取り組んでおられます。「初めてで使い方が分からなかったけど、やってみたら楽しいわ」「家にあつたらいいなあ」などご好評いただいています。

言語訓練では『呼称リハ』（アプリ）を使って、出てきた写真が何かを答えていく内容で、「俳優の名前が出て来ない」「以前行った地名が思い出せない」などの症状に対して、思い出せるように訓練を行っています。ランダムに出てくる写真に「なんやったかな？あれ？あれ？」と記憶をたぐりよせ、思い出された時にはスッキリした表情で笑顔も見られます。

～事業団だより～

# ほっとメール

第129号

社会福祉法人伊丹市社会福祉事業団  
〒664-0014 伊丹市広畑3-1  
いたみいききプラザ3階  
電話 072-784-9987  
ホームページアドレス  
<http://jigyoudan-itami-hyogo.jp/>  
2022年（令和4年）1月発行



ほっと一枚



【(仮称)ケアハイツいたみ2号館建築工事】  
令和4年度のオープンを控え、(仮称)ケアハイツいたみ2号館の建築工事も着々と進んでいます！  
2号館の特徴としては何と云っても「木造建築」。建物には木の香りがあふれ、癒し効果も感じられます。地域住民の皆様や、利用されるすべての方の「安らぎの場」となるような施設を目指していきます。

## 新年のごあいさつ

理事長 阪上 昭次

新年あけましておめでとうございます。

皆様にはすがすがしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年は、六十干支で壬寅（みずのえ・とら）にあたり、諸説ありますが、壬寅年においては、草花が伸びようと成長する所以があるとも言われています。

当事業団におきましても、これまで進めてまいりました事業転換が完了する年であり、中野北への養護老人ホーム移転など大きなチャレンジの仕上げの年となります。そして、これら一連の取り組みをしっかりと定着させ、時代の変化に対応する新たな一歩を踏み出す年でもあります。

皆様方には、当法人のチャレンジに引き続き温かいご支援をいただきますようお願い申し上げますとともに、年頭にあたり、皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。



## 環境に配慮した木造建て養護老人ホーム・小規模特別養護老人ホーム

完成イメージ



2022年7月オープン予定!

地域交流ルームイメージ



養護老人ホーム(50床)  
小規模特別養護老人ホーム(29床)  
訪問介護事業所・地域交流ルーム

住所:伊丹市中野北4丁目17番3号  
構造:養護老人ホーム(木造3階建)  
小規模特別養護老人ホーム  
(木造平屋建)

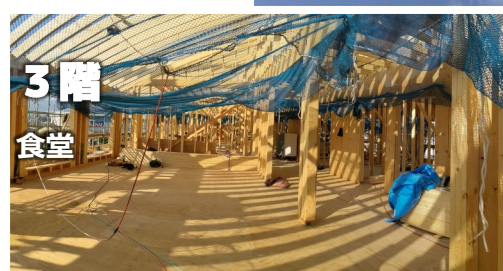
食堂イメージ



## (仮称)ケアハイツいたみ2号館進捗状況

(仮称)ケアハイツいたみ2号館養護棟の建築状況取材しました。

内装はまだですが、部屋の枠組みは既に出来上がっているため、食堂や居室、事務所の位置や広さが実感できました。



## インタビュー

建築中の(仮称)ケアハイツいたみ2号館について住友林業の佐山さん・小島さんに話を伺いました。  
—木造での3階建てとなっていますが、強度は問題ないのでしょうか。

今回の工法はツーバイフォーといって、2インチ×4インチの木材を組み合わせ、箱状にすることで変形に強いという特徴があります。また、壁には石膏ボードを貼るため、高い耐火性を確保しています。鉄は熱されると強度が急激に低下し形を保っていきませんが、木は燃え尽きるまで崩れることがないため、結果、長い時間火に耐えるといわれています。

—木造建築ではあまり大きな施設が建てられないイメージですが、現在は増えているのでしょうか。

環境への配慮から、国の施策として木材の利用が促進されており、公共の施設を中心に広がっています。最近では技術が進歩し、木造の高層ビルも建築されています。

—木のいいところはどんなところですか。

木には温度調節機能が備わっているため、コンクリートに比べ、冬は暖かく、夏は涼しい環境が作れます。そして、床や廊下の踏み込みが柔らかく、住みやすいところでしょうか。3月になれば、地域交流ルームの内部をお見せできる状態になります。地域交流ルームは木を全面に押し出したデザインで、木の良さがたくさん感じられると思いますので、楽しみにしてください。

